

【評価対象年度 2021年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市美術工芸館		
施設概要	【所在地】町田市忠生3-6-22 【開設年月】1981年5月 【開館日時】月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時まで 【敷地面積】1,999.93㎡(東京都との無償貸付契約) 【建物面積】1,562.85㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造2階建て		
設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、利用者一人ひとりの社会参加と自立した生活を支援していく事を目的とする。		
設置根拠法令・条例	町田市授産センター条例		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
施設ホームページURL	https://machida-ikuseikai.net/service/kougeikan.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番地1		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)町田市美術工芸館(以下「美術工芸館」という。)の事業の実施 (2)障害者総合支援法に規定する就労継続支援事業及び生活介護事業を行うこと (3)美術工芸館の施設及び設備の維持管理に関すること (4)その他市長の指定した業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
研修を常勤職員全員が受講する。	毎年度	虐待防止研修、オンライン研修を受講。虐待防止研修については、職員会議で周知をした。
高校、専門学校などの実習生を積極的に受け入れ、外部の目を入れることにより、虐待防止に努める。	毎年度	26名の実習生を受入れをし、違和感を覚えた支援がなかったか確認を行った。
送迎希望のあるご利用者には、通いやすいよう95%以上の実施が出来るように努める。	毎年度	送迎を希望されるご利用者全員の利用が出来た。

3. 昨年度の課題

内容	コロナ禍においても工夫をして行事を開催する
----	-----------------------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査について前年度より約8ポイントの増加が確認できた。コロナ禍で様々な自主事業が中止になっているなかでの満足度の増加は、運営改善の結果であると認められる。 ・管理施設業務に関わる経費については、黒字となっており、安定した運営を行っていることを確認した。 ・業務履行状況・財務履行状況ともに要求水準を満たす運営を行っている。 ・建物の老朽化、利用者の高齢化により現行施設での支援が難しくなっているなか、利用者満足度の高い支援を提供できている。 	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は、各フロアの垣根をなくして美術工芸館全体で職員間の情報共有や意見交換ができる雰囲気づくりに努めたことで、職員と利用者の笑顔が増えたと実感できた年度でした。2020年度の利用者満足度は「大変満足」「満足」が77.6%でしたが、2021年度は85.7%となり、目標値を達成することができました。 ・2020年度の課題「コロナ禍においても工夫をして行事を開催する」については、昼食のお楽しみ企画としてインドカレーを取り寄せて提供したり、薬師池の西園に行ってアイスクリームを食べるイベントを行いました。また、数年開催を見送っていた夏祭りの規模を縮小しての再開や、声を出さずに節分の豆まきを行うなど、コロナ禍においても工夫をして行事を開催することができました。 ・2021年度の上半期に複数名の職員の入退職があったため、入職された職員の育成が課題となっています。 	

【評価対象年度 2021年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2022年3月28日 【ご利用者数】 69名 【聞き取り者数】 57名 【聞き取り率】 82.6% 【調査方法】 手渡しにてアンケート配布。記入後は封筒に入れてもらい職員が回収
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 90%以上 B: 50%以上～90%未満 C: 50%未満	80%	85.7%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	80	80	80	80	80
実績値	77.6	85.7			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
送迎サービス実施率	A: 希望者の95%以上 B: 90%以上～95%未満 C: 90%未満	95%	100.0%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	95	95	95
実績値	100.0	100.0			

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
自主事業開催回数	A: 12回以上 B: 10回以上11回以下 C: 9回以下	12回	13回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	12	12	12	12	12
実績値	10	13			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度については2020年度に引き続き増加しており、今年度も約8ポイント増加している。送迎サービスは昨年度に引き続き100%を達成している。また、自主事業については2020年度同様コロナ禍が続き開催できない行事が多かったものの、規模を縮小するなど工夫(納涼祭→ミニ夏祭り等)を行って実施できたものもあり、目標値を超える実績をあげている。そのため総合的には良好であると判断した。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2021年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	施設の設置目的に沿ったサービスを平等に提供しているか	個別支援計画の作成	個別支援計画を策定し、面談にて説明を行い、同意を確認したことを個別支援計画承諾書にて確認した。	適
	利用者からのモニタリングを実施しているか	利用者アンケート(年1回)及び毎月のご利用者会議の実施	ご利用者会議はコロナ禍の為見送ったとのこと。面談時に、利用者の要望を聞いていることを「ご利用者希望調査」にて確認した。	適
施設の管理運営方針・	設備機器の安全確認・保守点検	年1回以上の実施	昇降機点検:月1回、消防設備点検:年2回、電気保守点検:年6回、水質検査:年1回、冷温水機点検:年2回、貯水槽清掃:年1回。全て点検報告書にて確認した。	適
	施設と法人本部の連携	経営会議・運営会議の開催	年20回の経営会議、年7回の運営会議の実施を、会議次第、議事録で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定を整備していることを現地調査にて確認した。	適
	適切な取扱	施錠された書庫で保存	鍵のついた書庫での管理と施錠をしていることをヒアリング及び現物確認した。	適
要望対応	事故トラブルの未然防止	ヒヤリハット台帳の作成	ヒヤリハット記録簿を作成し、その後職員ミーティングで共有していることを記録簿・業務日誌で確認した。	適
	苦情対応記録	苦情発生の抑制と迅速な対応	販売物品の不良についての対応を事業報告書で確認した。利用者からの苦情相談ポスト設置を現地で確認。なお2021年度は利用者からの苦情はなかったとヒアリングで確認した。	適
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練を年2回以上実施	全体避難訓練2回(11/8、3/29)行っていることを消防署への報告書で確認した。	適
	各種保険への加入	傷害保険への加入	団体総合生活補償保険・傷害保険に加入を保険証書で確認した。	適
人的安定性	職員研修	年間16回の実施	事業実施報告書で7回の研修実施を確認した。コロナ禍のためこれ以上の対面式の研修会が実施が難しく、残り9回についてはオンライン研修サイトを使って、職員全員が合計16回以上の研修を行ったとヒアリングで確認した。	適
	職員配置	法律の人員配置基準(就労B型/利用者7.5人に1人)(生介/利用者3人に1人)	就労継続支援B型 6.8対1で配置、生活介護 2.9対1で配置してあることを職員配置表及びヒアリングで確認した。	適
管理経費の縮減	経費の適正執行	価格情報の把握	消耗品はまとめて購入をし、少しでも安くしている。数社の見積書を比較し安いほうを購入していることを物品購入起案書で確認した。	適
	管理経費の縮減	節電の推進	施設内外の必要でない部分の一部消灯、職員が早めに帰ることにより照明、空調などの節電を心掛けているとヒアリングで確認した。	適
地域貢献	地域との交流	地元町内会等との交流	コロナ禍で地域交流イベントが行えない中、ゴミ拾いや草取を行い地域貢献に努めている。また近隣の学校から実習生を積極的に受け入れていると事業報告書で確認した。	適
	地産地消	地元野菜の利用	給食材料仕入れ業者への注文書に「市場にあれば町田市産の野菜を入れるように」を記載してある事を確認した。	適

【評価対象年度 2021年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年2月1日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年2月1日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、現場でのヒアリング及び日誌、各報告書、委員会会議録への記載にて確認した。 なお、「人的安定性-職員研修-年間16回の実施」については、今年度はコロナ禍を鑑みオンライン研修も含めて「適」とした。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	122,400	120,372	131,600	122,448	139,700		146,200		154,240
	利用料金	7,600	4,086	8,100	4,670	8,300		8,400		8,600
	就労支援事業	9,900	8,525	10,300	8,177	10,550		10,800		11,150
	施設整備費	0	2,400	0	0	0		0		0
	財務活動	0	0	0	701	0		0		0
	その他	5,841	8,957	5,881	8,083	5,881		6,101		6,401
	計	145,741	144,340	155,881	144,079	164,431	0	171,501	0	180,391
支出	人件費	84,190	85,893	91,690	81,193	99,066		101,566		107,163
	維持管理経費	28,233	22,066	29,480	27,482	31,660		32,098		34,338
	就労支援事業	7,850	8,583	8,220	9,196	9,320		10,370		10,370
	施設整備費	0	4,278	0	671	0		0		0
	財務活動	18,000	21,500	18,000	15,070	18,000		22,000		22,000
	その他	1,100	1,549	1,100	1,750	1,100		1,100		1,100
	計	139,373	143,869	148,490	135,362	159,146	0	167,134	0	174,971
総計(収入-支出)	6,368	471	7,391	8,717	5,285	0	4,367	0	5,420	0

(2)指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	8.3	4.5			
負債比率	26.0	24.9			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、黒字経営が続いていることから、安定的に運営できている。法人の経常利益率、負債比率についても適正な値であった